



# 児童図書研究室だより

平成 25 年 3 月 29 日 発行

## 2012 年度 国内子どもの本に関する賞

2012年の日本国内の主要な児童文学賞の受賞が決定したものをまとめました。

当館児童図書研究室では3/19～5/19の期間に『2012年主な児童文学賞受賞作品』を展示しています。ぜひ手にとってご覧ください。

賞		タイトル	著者	出版社	出版年
日本絵本賞	大賞	もりのおくのおちゃかいへ	みやこし あきこ／著	偕成社	2010.11
	絵本賞	きつね、きつね、きつねがとおる	伊藤 遊／作、岡本 順／絵	ポプラ社	2011.4
		へちまのへーたろー	二宮 由紀子／作、 ストウ ビウ／絵	教育画劇	2011.6
	翻訳絵本賞	どうぶつがすき	パトリック・マクドネル／作、 なかがわ ちひろ／訳	あすなる書房	2011.9
	読者賞	ぼくのトイレ	鈴木 のりたけ／作・絵	PHP研究所	2011.8
坪田譲治文学賞		きみはいい子	中脇 初枝／著	ポプラ社	2012.5
講談社出版文化賞	絵本賞	新幹線のたび ～はやぶさ・のぞみ・さくらで日本縦断～	コマヤスカン／作	講談社	2011.12
産経児童出版文化賞	大賞	あさになったのでまどをあけますよ	荒井 良二／著	偕成社	2011.12
	JR賞	地球の声に耳をすませて ～地震の正体を知り、命を守る～	大木 聖子／著	くもん出版	2011.12
	美術賞	きのこ ～ふわり胞子の舞～	埴 沙萌／写真・文	ポプラ社	2011.9
	産経新聞社賞	鉄は魔法つかい ～命と地球をはぐくむ「鉄」物語～	島山 重篤／著、 スギヤマ カナヨ／絵	小学館	2011.6
	フジテレビ賞	盆まねき	富安 陽子／作、高橋 和枝／絵	偕成社	2011.7
	ニッポン放送賞	うきわねこ	蜂飼 耳／ぶん、牧野 千穂／え	ブロンズ新社	2011.7
	翻訳作品賞		エリザベス女王のお針子	ケイト・ベニントン／作、 柳井 薫／訳	徳間書店
		おじいちゃんの手	マーガレット・H.メイソン／文、 フロイド・クーパー／絵	光村教育図書	2011.7
椋鳩十出版文化賞		むこうがわ行き切符	小浜 ユリ／作、 岩清水 さやか／絵	ポプラ社	2011.9
日本児童文学者協会賞		ヒロシマ（3部作）	那須 正幹／作、 長谷川 知子／装画	ポプラ社	2011.7
日本児童文学者協会 新人賞		カエルの歌姫	如月 かずさ／著	講談社	2011.6
		〈物語〉のゆらぎ ～見切れない時代の児童文学～	奥山 恵／著	くろしお出版	2011.11
児童文芸新人賞		シーラカンスとぼくらの冒険	歌代 朔／作、町田 尚子／絵	あかね書房	2011.9
		チョコレートと青い空	堀米 薫／作	そうえん社	2011.4
福田清人賞		トキよ未来へはばたけ ～ニッポニア・ニッポンを守る人たち～	国松 俊英／著	くもん出版	2011.3
小学館児童出版文化賞		くちびるに歌を	中田 永一／著	小学館	2011.11
ひろすけ童話賞		ちいさなともだち ～星ねこさんのおはなし～	にしな さちこ／作・絵	のら書店	2011.11
小川未明文学賞	大賞	パンプキン・ロード	もりいずみ	学研教育出版	2012.2
野間児童文芸賞		世界の果ての魔女学校	石崎 洋司／作 平澤 朋子／絵	講談社	2012.4
けんぶち絵本の里大賞	大賞	いのちつぐ「みとりびと」1 恋ちゃんはじめての看取り	國森 康弘／写真・文	農山漁村文化協会	2012.1
ニッサン童話と絵本の グランプリ	童話の部優秀賞	ぐうたら道をはじめます	瀧下映子／作、大西 ひろみ／絵	BL出版	2012.12
	絵本の部大賞	ぴっちとりた まよなかのサーカス ※受賞時のタイトルは『ぐうたら道のお師匠さん』	長尾琢磨／作	BL出版	2012.12

# 岡山県立図書館アメリカンシェルフがオープン

岡山県立図書館にアメリカンシェルフがオープンしました。これは、在大阪・神戸総領事館の広報担当部門である関西アメリカンセンターが、米国について学ぶ機会を提供することを目的とした事業を受け、この度、米国の児童書や教科書、各種参考図書が寄贈され、設置されたものです。特に、児童書については、米国の児童文学賞を受賞したものを重点的に収集するとともに、米国内の教科書を収集することが出来ました。それぞれの賞および資料をご案内します。

## ○ニューベリー賞

1922年にアメリカ図書館協会の下部組織児童図書館によって創設された世界で最初の児童文学賞。前年に米国内で出版された米国籍もしくは米国在住の作家の作品のうち、最も優れた作品に贈られる。

## ○マイケル・L・プリンツ賞

アメリカ図書館協会のヤングアダルト部門による児童文学賞。前年に出版されたすべてのヤングアダルト向けの作品のうち、最も優れた

作品に贈られる

## ○全米図書賞児童文学部門

米国の作家によって書かれたティーンズ向け作品のうち、文学的価値が高い作品に贈られる。

## ○ボストングローブ・ホーンブック賞

ボストングローブ社とホーンブック社によって贈られる児童文学賞。6月～翌5月の間に米国で出版された児童書のうち、最も優れた作品に贈られる。

## ○米国で使われている教科書

アメリカ国内の多くの州で現在利用されている教科書が揃っています。米国では、州ごとに教育基準が異なり、そのすべてに適合させるため、多くの内容が掲載されています。さらに貸与制のため、日本のものに比べて重厚な装丁になっています。

平成25年2月17日(日)にはアメリカンシェルフオープン記念の英語のおはなし会を開催しました。ゲストに関西アメリカンセンター館長グレゴリー・ケイ氏をお迎えしました。60名以上の親子が参加し、盛況な会となりました。

### ～・～プログラム～・～

1. 絵本の読み聞かせ (日本語、英語)  
” brown bear brown bear, what do you see?” (邦訳『くまさんくまさんなにみてるの?』)
2. 手遊び・歌遊び “Itby bitsy spider” / “three little monkey”
3. 絵本の読み聞かせ (英語のみ)  
” Animals should definitely not wear clothing” (邦訳『どうぶつにふくをきせてはいけません』)

おはなし会では、日本語と英語の聞き比べや手遊び歌遊びを織り交ぜていきました。“brown bear brown bear, what do you see?” は日本語のものを図書館職員が読み、英語のものをケイ氏に読んでいただきました。この本は、日本語版と英語版で異

なる部分があり、そこに気づいた子どもたちは大喜びでした。手遊び歌遊びはいずれも米国でもよく知られたもので、楽しく英語に親しみました。“Animals should definitely not wear clothing” は、英語での読み聞かせのみでしたが、一枚の絵に一

つの文で構成されているので、絵を見ながら聞くことで、子どもたちは内容まで十分に楽しめたようでした。



# お正月の行事を催しました

1月12日（土）に「ヨムヨムおはなし会お正月特別編」を催しました。前半は絵本の読み聞かせ、後半はいろいろな工作をしました。まず、読み聞かせの前に、手遊びをしました。それまで固かった雰囲気が和やかになり、読み聞かせが始まります。読み聞かせでは、ボランティアが『おしょうがつさんどんどどこどん』、『どんぶらどんぶら七福神』、『これがほんとうの大きさ』、『しんせつなともだち』、『おもちのきもち』を読みました。お正月の絵本では、子どもたちが過ごしたお正月を思い返したり、比べたりしながら聞きました。また、『これがほんとうの大きさ』は、子どもが好きな動物の本で、実物大の手、鼻や足などが次々と出てきたこともあり、子どもたちは大変興味をもって聞いていました。終盤に読んだ「しんせつなともだち」では、子ども達が静かな話の世界にどっぷりと浸り、集中して聞いていたのが印象的でした。

次の工作では、「昔の遊び」をテーマに、「紙皿こま」、「ストロー竹とんぼ」、「紙コップけん玉」、「浮き玉」、「羽子板」を作りました。5つの工作コーナーの中から自分の作りたいもののコーナーを選び、作って遊んだら次へ行くようにしました。作るものを紹介すると、子どもたちは作りたいものがすぐに決まったようで、はりきって思い思いのコーナーへ行っていました。小さな子どもも参加していましたが、コーナーが5つあったので、自分で作ったり、遊んだりできるコーナーを選択することができたのが好評でした。そして、そこで初めて知り合った子ども同士や、親が子と一緒に楽しく遊ぶ姿が見られました。



## ◇イベント情報◇

平成25年度「子ども読書の日」特別上映会

### 『じんじん』

企画主演：大地康雄 佐藤B作 中井貴恵ほか

4月23日の「子ども読書の日」にちなんで、絵本の読み聞かせを題材にした映画『じんじん』の上映会を行います。“絵本の里”としてまちづくりを行っている北海道剣淵町を舞台にした、父と娘の絵本をめぐる物語をお届けします。

◆①平成25年4月23日（火）  
18：00～20：00

◆②平成25年4月28日（日）  
14：00～16：00

- ◆岡山県立図書館2階デジタル情報シアター
- ◆先着順82名 事前申込み不要
- ◆入場無料

平成25年度

「ヨムヨム春のおはなしまつり'13」

春のおはなし会を開催します。身の回りにあるふしぎを感じてもらえるようなかがく絵本の読み聞かせと、かがくあそびを計画しています。親子でぜひご参加ください。

かがく絵本：当日のおたのしみ♪

かがくあそび：磁石の実験、静電気の実験  
ストロー笛、ゴムガエルなど

◆平成25年4月27日（土）  
14：00～15：30

- ◆岡山県立図書館2階多目的ホール
- ◆5歳～小学校低学年 程度
- ◆先着順40名（保護者同伴可）
- ◆事前申込み不要
- ◆入場無料

## 新着図書紹介



『ごきげんなライオン おくさんにんきものになる』BL出版 2013.1

ルイズ・ファティオ文 ロジャー・デュボアザン絵 今江祥智・遠藤育枝訳

ライオンくんとそのおくさんは動物園の人気者の夫婦です。ある日、ライオンくんが転んで、病院へ運ばれてしまいます。その間、岩の上にはおくさんひとり。しかも、たてがみのないおくさんの前には誰も立ち止まりません。そこでおくさんは、お客さんを楽しませるために、仲間の動物たちと一緒にたてがみを作るといことにします。しかもそのたてがみを作る方法は驚きで、読者もびっくりさせられます。

ルイズ&ロジャー夫妻が生み出してきた「ごきげんなライオン」シリーズの最終巻です。ライオンふさいの絆をあたたくユーモラスに描きます。



『ことばの発達の謎を解く』今井むつみ著 筑摩書房 2013.1

人が言葉をどのように身につけていくかを認知科学の視点から読み解いていきます。実験結果からは、コミュニケーションだけでなく、言語が新しい概念を理解し思考をつくっていく行程までもが見えてきます。子どもが成長の中で出会う絵本を含めた児童書においては、そこに綴られることばの妥当性が厳しく求められます。そのため、子どもがどのようにことばを理解していくのかを知るとい観点から、本を手渡す目安を考える上でも参考にできる内容です。

## 児童図書研究書

『児童文学の教科書』川端有子著 玉川大学出版部 2013.2

子どもが読むために書かれた本、児童文学について、大人が学ぶための本です。三部で構成されており、第一部は児童文学の成り立ちからさまざまなジャンルへの発展および分化の過程が、第二部はジャンルの特性を解説し、その分野の研究書や詳細なブックリストが付けられています。第三部は現在注目されているトピックについて述べ、関連書を紹介しています。項目ごとに簡潔にまとめられていますが、情報量は多く、各章の終わりについている関連書やブックリストを追ってだけで、本文の何倍もの深さと広がりを感じられることでしょう。児童文学の世界への入り口に最適な本です。



『フランス児童文学のファンタジー』

石澤小枝子ほか著 大阪大学出版会 2012.12

本書では、フランスにおけるファンタジーの系譜を昔話や妖精物語、現代の作品にわけて解説されていきます。物語自体は、著名な作品に加えて、日本で初めて紹介されるものも含まれています。解説はル＝グウィン文学論を基礎としています。紹介文に近い内容で読みやすく、掲載されている物語に関する周辺の情報として簡潔にまとめられています。序文にあるとおり、純粋に物語の面白さを味わえることから、昔話やストーリーテリング等を学ばれている方、子どもと本に携わる方に広く紹介したい一冊です。



お問い合わせ先

岡山県立図書館サービス第一課児童資料班

Tel : 086-224-1286 (代表)

Fax : 086-224-1208